

●ごあいさつ



中田 敬司 防災・社会貢献ディベート大会 実行委員長

阪神・淡路大震災から20年を超える歳月が流れ、これまで兵庫、神戸では防災や減災に関する研究や啓蒙活動、防災教育等が活発に展開されてまいりました。そして私達はこれからも、災害の貴重な体験を無駄にすることなく、その教訓や学びを日本のみならず世界へと発信し、積極的に社会に貢献していく必要があると考えています。

そうした中で東日本大震災、広島土砂災害、御嶽山噴火、常総市洪水災害など毎年のように災害が発生し、一昨年は熊本で大地震が発生しました。

先に述べたように災害大国と言われる我が国はその教訓を次につなげていく必要がありますが、中々それが活かせない現状も一部では存在しています。今回はその一つでもある「避難所」に焦点を当てて考えてまいります。

災害が発生すると被災地域では通常の生活環境が崩壊し、避難所での生活をせざるを得なくなった方々が過去多く発生しました。ところが今後の災害対策を考えたときに、その整備や体制は十分と言えるでしょうか。

ここで、行政が被災者に提供できる「避難所」の現状はどうなっているのか、またその具体的な問題はどのようなもので、今後どのような対策が必要なのか、また教育事業との関係は、今一度考える必要があるように思えてなりません。そしてそれらを踏まえ、今回の論題は「わが国はすべての大学を指定避難所にすべきである」と掲げました。

選手の皆様におかれましてはフェアで真摯な態度で試合に臨み、活発な議論を展開され、参加者の皆様も選手と共に今回の論題について深く学び、将来我が国の防災分野でリーダー的存在として活躍されますことを心から願っています。

●ディベートについて

◎ある議題について相反する立場に分かれて討論することをディベート (debate) と呼び、近年わが国でも様々な分野で教育を目的として行う「教育ディベート」 (academic debate) が盛んになっています。多くの場合、教育ディベートは今大会のように競技ディベート (competitive debate) として行われます。

◎競技ディベートの目的は、単に討論者の優劣や勝ち負けを争うのではなく、討論に向けて準備し、実際に討論し、討論の経緯を振り返るといった一連の過程を通して、参加者全員が与えられたテーマに対してより深い理解を得ることにあります。



●今大会の方針とルールについて

◎今大会は、「わが国はすべての大学を指定避難所にすべきである」という論題について、社会人、大学生、高校生からなる12チームがその説得力を競い合います。

◎4つのリーグに分かれ、各チーム2回対戦を行います。
◎各リーグの上位1チーム、合計4チームが決勝トーナメントに進みます。

◎競技は通常の教育ディベートのルールに則って行い、審査には競技・審査経験の豊富な「関西ディベート交流協会 (KDLA) の方々にあたっていただきます。

◎各チームの立論内容も重視するため、防災・社会貢献分野の専門家の方々、聴衆審査員の方々にも審査に参加していただきます。

●各賞の紹介

【チーム対象の賞】

- 優勝
- 準優勝
- ベストハイスクール賞
- 立論賞
- オーディエンス特別賞
- 敢闘賞

【個人対象の賞】

- 最優秀ディベーター賞
- 審査委員長奨励賞 (2名)



●プログラム

時間	内容	会場
9:00~9:15	開会式 ○開会宣言 ○実行委員長挨拶 (中田実行委員長) ○ルール説明 (岡野審査委員長) ○対戦表発表	○B203講義室
9:30~12:10	予選リーグ (ブロックA~D)	○予選リーグA: B204講義室 ○予選リーグB: B206講義室 ○予選リーグC: B207講義室 ○予選リーグD: B209講義室
12:10~13:10	～昼食休憩～	
13:10~13:20	インフォメーション	
13:20~13:35	進出チーム発表 ○予選リーグ総評・判定 ○準決勝トーナメント進出チーム発表	○B203講義室
13:45~14:45	準決勝 ○2対戦	○B207、B209講義室
14:55~15:55	決勝 ○1対戦	
15:55~16:05	オーディエンス投票	
16:05~16:35	講演会 「同時多発する避難所」 講師: 金田 真須美 氏 (災害支援団体「チーム神戸」代表)	○B203講義室
16:35~17:05	閉会式・講評・表彰式 ○決勝戦講評、大会総評 (岡野審査委員長) ○表彰 (賞状・賞品授与) ○閉会宣言	
17:10~18:10	交流茶話会 (参加無料) ※参加チーム、審査員、関係者のみ	○カフェテリアプレス (B号館1階)

パネル展
「災害の教訓を生かした
支援活動・啓発活動」
9:00~17:00
2階EVホール

【主催】 防災・社会貢献ディベート大会実行委員会
(兵庫県、神戸学院大学学際教育機構防災・社会貢献ユニット、神戸学院大学附属高等学校、兵庫県立舞子高等学校、ポアイ4大学連携推進センター (神戸学院大学、神戸女子大学、兵庫医療大学、神戸女子短期大学) ほか)

【共催】 神戸学院大学、社会貢献学会

【協力】 関西ディベート交流会 (KDLA)、TKK3大学連携プロジェクト (東北福祉大学、工学院大学、神戸学院大学)

【技術・審査指導】 岡野 勝志氏 (関西ディベート交流協会 (KDLA) 顧問)

【後援】 アジア防災センター、国際復興支援プラットフォーム、公益財団法人兵庫県国際交流協会、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター、JICA 関西、CODE海外災害援助市民センター、朝日新聞神戸総局、共同通信社神戸支局、神戸新聞社、時事通信社神戸総局、日本経済新聞社神戸支社、毎日新聞神戸支局、サンテレビジョン、読売新聞神戸総局、NHK 神戸放送局、ラジオ関西

【協賛・寄付】
TOA 株式会社、株式会社ジーベック、株式会社ノルメカエイシア、株式会社 都工業、第一コンテック株式会社、株式会社コンプラス、特定非営利活動法人映像記録、はんこ広場神戸元町店、田中義行様、林洋克様、橋本正権様、藤井一博様、土肥克次様、株式会社アルト、清家隆幸様、青野美香様、高村信孝様、会社消防ユニフォーム、松尾紀明、前山英男様、向井亮裕様、Bowls Kitchen様、栗林和枝様、板東淳様